

《マンモグラフィ読影におけるディープラーニングを用いたコンピュータ自動診断システム（DLADs）の性能評価試験》

へのご協力のお願い

（研究目的）

マンモグラフィの乳がん病変を、人工知能による自動読影判定がヒトと同等もしくは、それ以上の性能を示すかどうか評価する。

（研究対象）

当院で過去に撮影され、診断が確定している症例のマンモグラフィ

（研究期間）

2011年 11月 30日 ～ 2019年 12月 1日

（研究方法）

過去に撮影され、診断が確定している症例のマンモグラフィに対し、個人情報
を完全に消去した状態で、本研究の事務局に提出する。事務局では、全国から
集まった所見データを畳み込みニューラルネットワークに入力し、乳がんの
画像の特徴を学習させる。乳がん症例5000例、良性病変10000例の収集を目標とする。

（その他）

個人データは消去され、個人情報の流出の心配はありません。この研究により、乳がんの診断がさらに精密なものになることが期待されます。

（問い合わせ先）

松江赤十字病院

＜診療科＞ 乳腺外科

＜役職等＞ 村田陽子

電話番号 0852-24-2111（代表）

対応時間 平日 8：20～16：50